

2022年2月17日

各 位

会社名 株式会社キャンパス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号：4575 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者
加登住 眞 (電話 055-954-3666)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時	2022年2月17日 10:00～11:00
開催方法	インターネットを利用した双方向オンライン会議形式
開催場所	Zoom ウェビナー
説明会資料名	2022年6月期第2四半期決算説明会

【添付資料】

1. 2022年6月期第2四半期決算説明会資料

以上



2022年6月期 第2四半期決算説明会

2022年2月17日

株式会社キャンバス
(東証マザーズ 4575)

決算と財務の状況

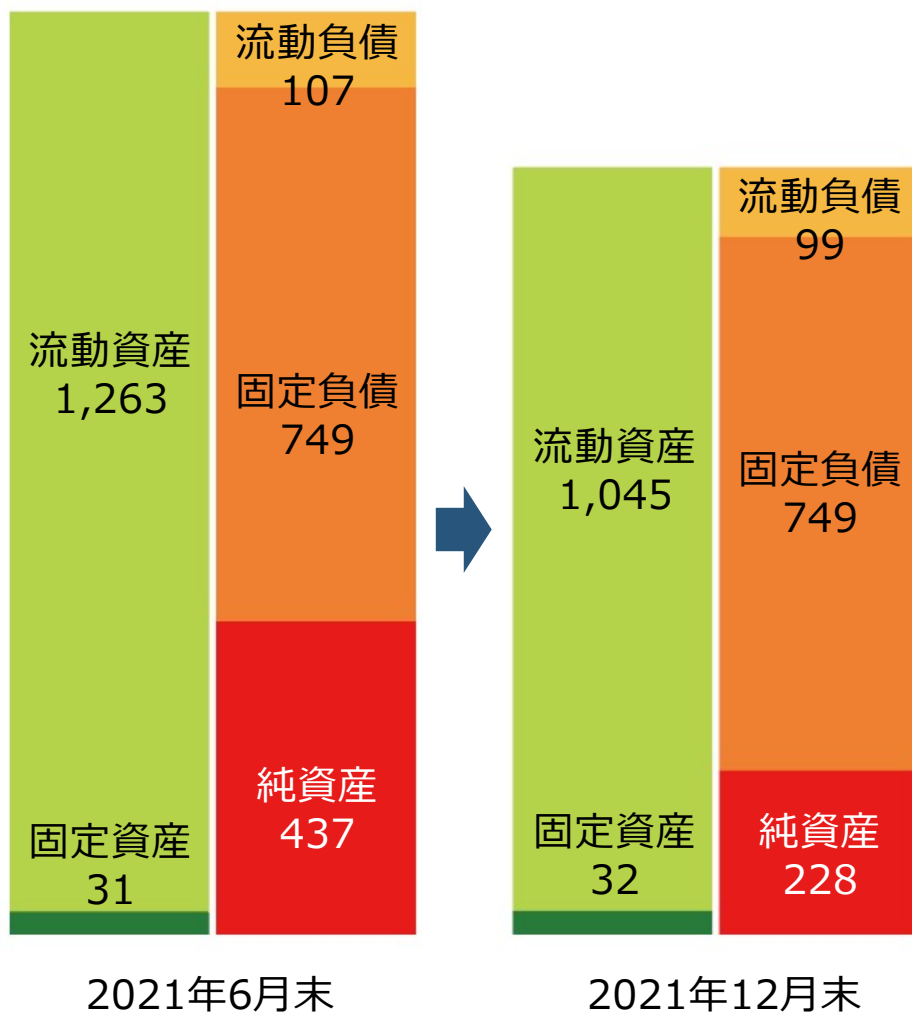
2022年6月期2Qの業績 (1)損益計算書

ポイント

- CBP501：順調な開発進捗、先行投資赤字を計上
 - ✓ 第2相試験スタートがやや遅れ、研究開発費計上額は前年2Q比減
- CBS9106：アドバイザーリーフィー期間が終了し2Qでの収益計上なし
 - ✓ ライセンス先Stemlineが引き続き推進中、マイルストーン収益の早期実現を図る

	2022年6月期2Q	前年2Q比	注
事業収益 (売上高)	一 百万円	△55 百万円	
営業利益	△356 百万円	△27 百万円	事業費用 前年2Q比28百万円減
経常利益	△359 百万円	△29 百万円	
四半期純利益	△359 百万円	△49 百万円	前年2Q 特別利益20百万円

2022年6月期2Qの業績 (2)貸借対照表の推移 (単位：百万円)



2021年6月期末からの主な変動

➤ 流動資産

- ✓ 現預金 1,154 → 1,024
 - (後発事象) 1月7日一部買入消却 △382
- ✓ 前渡金 71 → 0
 - 臨床第2相試験進捗に伴い消化

➤ 流動負債

- ✓ 未払金 85 → 68
 - フェーズ1b試験分↓ 第2相試験分↑

➤ 固定負債

- ✓ 転換社債 749 → 749
 - 第3回→第4回のリファイナンスで変動なし
 - (後発事象) 1月7日一部買入消却 △382

➤ 純資産

- ✓ 第17回新株予約権行使による資金調達

新規提携等による事業収益獲得に向けた取り組み

➤ CBP501

- ✓ フェーズ1b試験の好感触と第2相試験開始を契機にアライアンス活動を活発化
- ✓ 同領域の他の臨床試験でフェイルが続いていることもあり慎重姿勢は続いているものの、免疫系抗がん剤併用への興味は継続していると判断

➤ CBS9106

- ✓ Stemline社による次相以降臨床試験への展開をサポート
- ✓ マイルストーン収益の早期実現を図る

➤ その他のプロジェクト

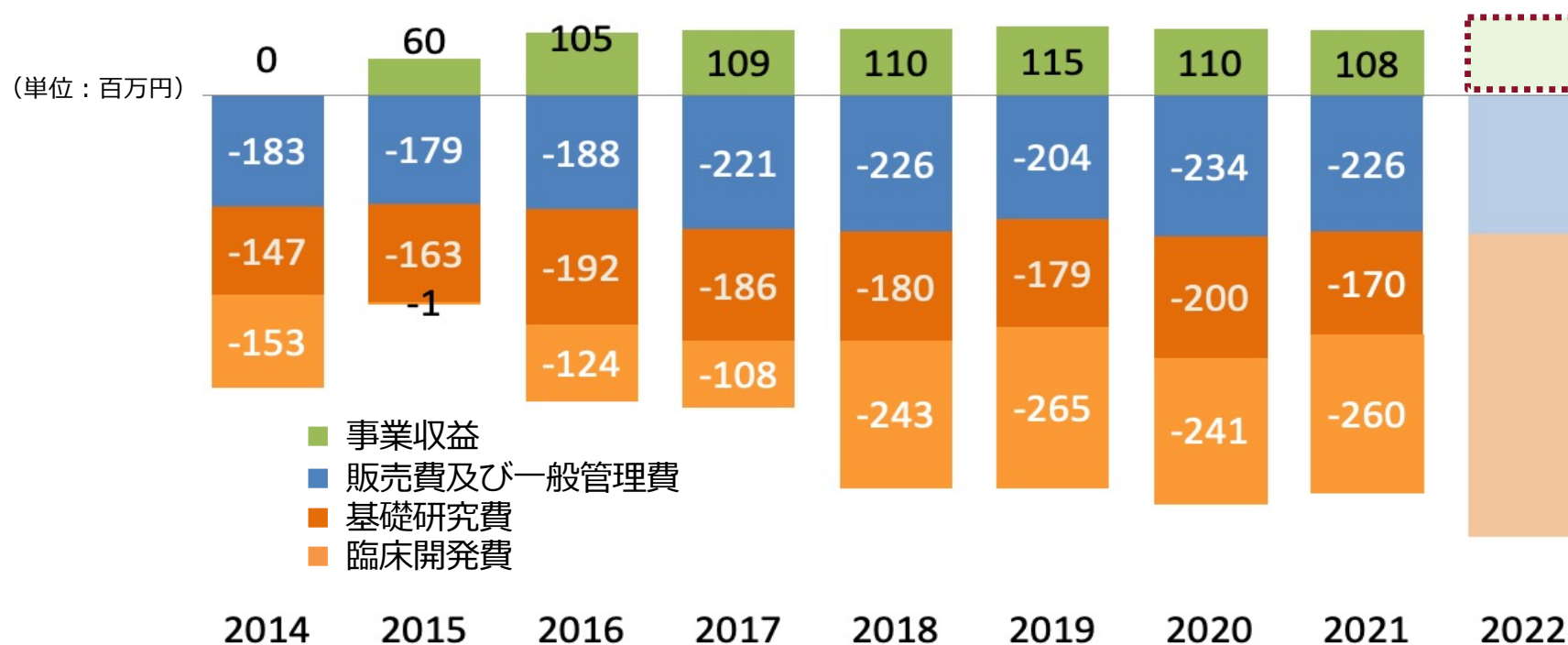
- ✓ CBT005：探索初期段階への興味を獲得。
他の前臨床試験直前のものと同様に、早期アライアンスによる収益獲得を図る
- ✓ 基礎研究段階のもの：リード化合物獲得へ

2022年6月期の業績予想

不確定要因が多く業績見通し非公表

- ✓ 事業収益・・・提携獲得実現に向け活動継続
- ✓ 事業費用・・・臨床第2相試験の進捗次第で研究開発費が大きく変動

➤ 新型コロナウイルス感染拡大の影響はない模様



時価総額基準適合に向けた取り組みの状況

東証グロース市場を選択。上場基準適合への取り組み表明

- [事業計画及び成長可能性に関するご説明資料](#) (2021年12月24日)
- [新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書](#) (2021年12月24日)

実行した取り組み

- 開発を進め企業価値を高めるための資金調達実施
- 潜在株式を削減し希薄化懸念を払拭・軽減する資本政策の実行
 - ✓ 第15回新株予約権未行使分全部消却・第4回転換社債一部買入消却
- 丁寧な投資家リレーションによる開発価値上昇状況の周知
 - ✓ [CBS9106提携契約条件追加開示](#) (2021年12月24日)
 - ✓ [CBP501臨床第2相試験進捗状況月次開示](#)開始 (2022年1月から)
 - ✓ [「CBP501臨床第2相試験をご理解いただくために」](#) ブログ連載 (2022年1月6日から)
- アナリスト・機関投資家向け説明も強化

第17回新株予約権・第4回転換社債発行（2021年9月）

➤ 発行・行使・転換による当初調達計画

- ✓ 新株予約権発行による調達 16百万円 →調達済み
- ✓ 新株予約権行使による調達計画（当初行使価額ベース） 1,999百万円
→調達進行中。2022年1月末までの累計調達額 167百万円
- ✓ 転換社債は2019年10月発行の第3回転換社債のリファイナンスのため新規調達なし

潜在株式を削減し希薄化懸念を払拭・軽減する資本政策の実行

➤ 第15回新株予約権の未行使分消却（2021年12月）

- ✓ 消却した未行使新株予約権 342,516株

➤ 第4回転換社債の一部買入消却（2022年1月）

- ✓ 買入消却した未転換の転換社債 384百万円 1,360,533株分（下限転換価格ベース）

研究開発の状況

(1) 臨床開発段階のパイプライン

CBP501とCBS9106の臨床開発進捗

	探索・創出	最適化	前臨床試験	臨床試験	提携・導出 共同研究
CBP501				第2相試験実施中	
CBS9106	前臨床試験終了し導出済み			第1相試験完了	Stemline
CBP-A08 CBP501の系譜に属する ペプチド型免疫系抗がん剤	最適化終了				
NEXTプロジェクト がんの「治癒」を目指す 免疫系抗がん剤	CBP005				
IDO/TDO阻害剤 ほか※					静岡県立大学 ほか

※ このほか、CBP501とは異なる着想のペプチド型免疫系抗がん剤CBP-Bシリーズなどが免疫領域で広く基礎研究を展開しています

免疫着火剂 CBP501

4つの投与群でStage1実施中



進捗状況

➤ 組入れ

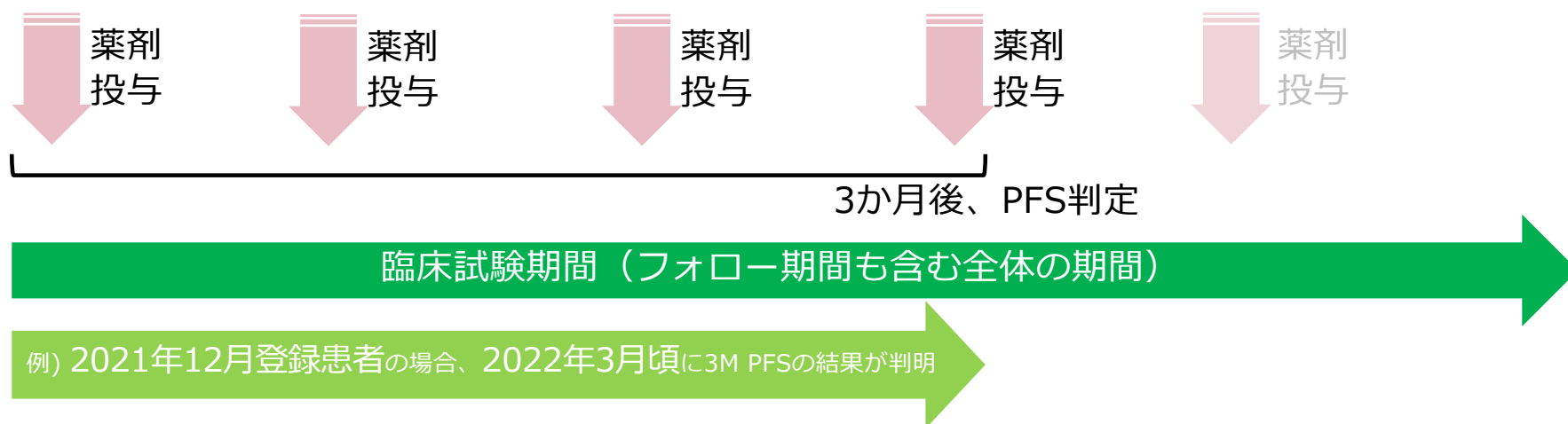
- ✓ 1月末までの累計被験者登録者数 4名、2月（15日まで）の新規登録者数 1名 = 現在累計5名
 - 予備軍：同意説明文書署名済み・最終スクリーニング中 2名、簡易スクリーニング中 21名

➤ 施設数

- ✓ オープン済み施設数15 → 20施設まで増やす予定

臨床第2相試験 次のイベント

患者投与スケジュール



試験の特徴

- 主要評価項目 3か月無増悪生存率 (3M PFSR)
 - ✓ 各患者の3か月後PFS判定を集積し、4つの投与群ごとに3M PFSRを算出
- OPEN試験
 - ✓ 盲検化試験ではないため、試験結果は随時収集 = 3M PFSRも算出・解析可能

臨床第2相試験 次のイベント

3M PFS判明のスケジュール例

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
患者A	登録			3M PFS					
患者B			登録			3M PFS			
患者C					登録			3M PFS	
患者D						登録			3M PFS

順調に組入れが進めば 4~5月頃に累計登録18名程度か → 順調なら夏頃に
初期的な3M PFSR感觸判明も

今後のイベント見通し

- 初期の試験結果の感觸獲得
 - ✓ 順調に組入れが進めば4~5月頃には18名程度登録の見通し → 夏頃には3M PFSR18名分が蓄積
→初期の感觸が得られる可能性
- Stage 1の患者登録終了 (4つの投与群 各群9例 計36例)
- 中間解析結果
 - ✓ Stage 1の終了後に中間解析を実施予定

可逆的XPO1阻害剂 CBS9106

進捗状況

- 臨床第1相試験完了 (2022年2月14日公表)

第1相試験データの評価と次相臨床試験検討の状況

- Stemline社SABは本試験で得られた安全性・有効性データを高く評価
- 次相臨床試験検討の状況
 - ✓ 臨床第2相試験は併用試験を想定し、CBS9106と組合せる併用薬の種類と対象癌腫の検討
 - ✓ 対象癌腫候補
 - 臨床第1相試験（対象：固形がん全般）では、複数の癌種への有効性を示唆
 - 大腸がん
 - KRAS変異がん
 - 腎臓がん
 - ESMO2020発表後の患者フォローなども踏まえて別の対象癌腫の可能性も

研究開発の状況

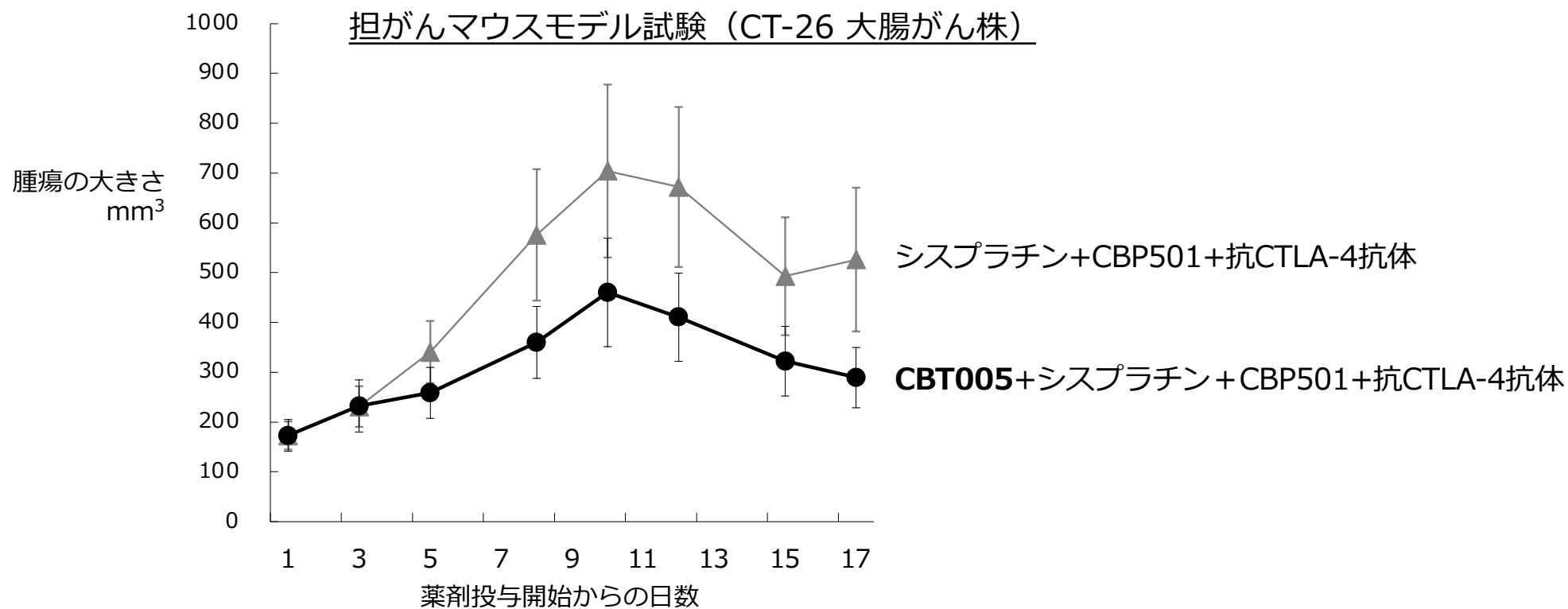
(2) 前臨床試験までの段階のプロジェクト

基礎研究～非臨床試験段階のパイプライン (ピックアップ)

- **CBT005** (2021年11月12日適時開示)
 - ✓ マウス実験段階だが魅力的な抗腫瘍効果データ獲得
 - ✓ 社内の薬効確認試験(実施中)を経て前臨床試験への進行有無を判断
- **CBP-A08**
 - ✓ 最適化を完了し、財務状況等を勘案し前臨床試験開始を模索
- **IDO/TDO二重阻害剤**
 - ✓ 静岡県立大学と共同研究で最適化を進行中。COVID-19新規治療薬への用途拡大研究にも着手
- **NEXTプロジェクト**
 - ✓ 新たなコンセプトの免疫系抗がん剤候補化合物の探索創出
- **抗がん剤感受性予測システム**
 - ✓ 患者様個々の体細胞変異情報を用いて抗がん剤治療の結果を予測

基礎データ

- CBT005 + シスプラチン + 抗CTLA-4抗体にCBT501を加えた4剤併用非臨床試験



☒ コンセプトのご紹介

- がんは古くから“wound never heal”（治らない傷）と呼ばれてきた
- 傷でも進行がんでも、起きることは同じ



- CBT005は消防作業(=炎症)終了指令を消防作業継続拡大指令に変える

キャンバスを知る情報源

- ウェブサイト <https://www.canbas.co.jp>
マネジメントブログ <https://www.canbas.co.jp/blog/>

- 公式ツイッター <https://twitter.com/canbas4575>

- アナリストレポート
 - ▶ フェアリサーチ
最新版『夏場には朗報の可能性も』
<https://column.ifis.co.jp/company/143379>
 - ▶ シェアードリサーチ
<https://sharedresearch.jp/ja/4575>

- TV出演
 - ▶ 日経CNBC『攻めのIR Market Breakthrough』
<https://www.youtube.com/watch?v=tZbSEhhyutI>



■将来見通し等に関する注意事項

- ▶ 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ▶ 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ▶ 業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- ▶ 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示するものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■お問い合わせ先： 株式会社キャンバス 管理部 IR担当
Email IR@canbas.co.jp